

航空幕僚長によるパプアニューギニア及びパラオ訪問について

6月12日から14日にかけて、航空幕僚長 内倉 浩昭 空将は、多用途支援機U-4により、空幕長として初めてパプアニューギニア独立国及びパラオ共和国を訪問しました。本訪問は、今年3月に行われた第2回日・太平洋島嶼国国防大臣会合（JPIDD）で発表された「太平洋島嶼国地域における一体となった安全保障の取組のための協力コンセプト」に沿って、太平洋島嶼国との防衛・安全保障協力の促進に寄与するものです。

パプアニューギニアにおいて、内倉空幕長は同国の国軍司令官等を表敬し、我が国及び太平洋島嶼国を巡る安全保障環境について意見交換しました。また、パラオでは、同国大統領等を表敬し、今後も空自機の寄航、人道支援・災害救援等、様々な分野で協力していくことを確認しました。

航空自衛隊は引き続き、パプアニューギニア及びパラオを含む太平洋島嶼国との関係強化を推進し、JPIDDの副題であった「Bridging the Blue Continent」にちなみ、「一つの空で結ばれた」私たちが共に協力して取り組むことでインド太平洋地域の平和と安定に寄与してまいります。

